

登録コード	MA780606	開講年度	2026			
授業科目名	作業療法学特別研究				担当教員	岩波 潤
英文授業名	Research Thesis (Master's) in Occupational Therapy				副担当	
単位数	10	講義期間	通年	曜日・時限・不定期		対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	必修科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【研究科共通】医学、保健学および関連諸科学の研究に対する理解に基づいた高度な倫理性を持ち、科学的基盤に基づいて医療、医学研究もしくは教育を実践できる。					
	【保健学】高い倫理観と専門的知識や技術、科学的根拠に基づく臨床問題解決能力などの高度な実践能力を有する。				作業療法に関連するリサーチエスションに対し、専門的知識や科学的根拠に基づく臨床問題解決能力を用いて検討し、科学論文の作成及び発表することができる。	
(2)授業の概要	・作業療法学分野において、大学院生の企画・立案した研究課題についての調査や分析を行い、考察を深めるとともに、論理的な結論を導き出し、修士論文を作成する。 ・身体障害における作業療法実践の科学的根拠の探索に主眼を置いた修士論文を作成しプレゼンテーションを行う。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	研究者としての研究能力や学術論作成に必要な能力を修得する。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOs）	1. 臨床疑問の解決を目指した研究計画を立案できるようになる。 2. 研究計画に沿ってデータ収集、解析、結果の考察ができるようになる。 3. 修士論文を作成できるようになる。 4. 研究成果のプレゼンテーションができるようになる。					
(5)授業計画	日時は受講学生と検討のうえ決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前・事後の自主研究時間を要する。 1. 作業療法学に関する先行文献の検討を行う。 2. 研究テーマを設定する。 3. 研究テーマに基づく研究計画を立案する。 4. 倫理審査を受審し、承認を受ける。 5. データ収集・分析を行う。 6. 学位論文をまとめる。 7. 研究成果のプレゼンテーションを作成する。 8. 学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する。					
(6)授業の進め方	日時は受講学生と検討のうえ決定する。 授業は、教員および学生のプレゼンテーションおよびディスカッションを中心に行う。 能動学習による理解の深化を目指すために、質疑応答にも重きを置いて展開する。 また、既習の内容を含めて知識を体系的に整理する課題を実施し、その成果報告を行う。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【履修上の注意】 指導教員と綿密な連絡やコミュニケーションをとり、他の大学院生と協力しながら学習を進めてください。 【事前学習】 自身の研究に関連する文献を十分に集め理解しておく。 毎回の講義時に研究の進捗状況を報告できるようにまとめておく。 【事後学習】 毎回、授業終了時に次回に向けた予復習のためのワークを指示する。それは次回の授業で回収するので、提出の準備をしておくこと。					
(8)成績評価の方法	修士論文の完成度とプレゼンテーション内容で評価する。					
(9)成績評価の基準	下記の評価項目の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可，60点未満：不可とします。 研究の目的・方法・結果および考察について十分に理解し、明確に説明できている。（50点） 研究内容について提起されている質問に対して、理論的に説明できている。（30点） 研究の将来展望について記述できている。（10点） 当該研究分野に関する最先端の知識を有している。（10点）					
(10)学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問への対応：岩波 潤 連絡先：0263-37-2406，iwanami@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：随時対応 事前にアポイントメントをとってください。					
【テキスト，教材，参考書】	適宜，紹介する。					